

# 北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第735号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)

HOPE2017 9月1日(金)・2日(土) 開催  
アクセスサッポロ

8

2017

平成29年  
8月10日発行

## INDEX

印刷燦燦	3
第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会	4~10
第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会文化典宣言	11
永年勤続優良従業員表彰受賞者	11
会長あいさつ	12
概要	13
基調講演案内	14
HOPE2017 セミナー案内 第1日	15
パネルディスカッション案内	16
セミナー案内 第2日	17
会場案内図	18
出展一覧	19・20
第30回北海道印刷関連業協議会ゴルフ大会案内	21
業界のうごき	21
紙上暑中見舞名刺交歓	22~26

《表紙》大雪森のガーデンから大雪山愛別岳を望む



大雪森のガーデン  
「ヒマラヤンブルーポピー」

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル  
TEL.011-595-8071/FAX.011-595-8072



この印刷物は、CSRに  
取り組む印刷会社が製作  
した印刷物です。

P-00023

# 印刷 燦 燦

## 第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会を終えて

しかし、ゴルフは暑かった。私の話ではない。参加された方々は疲れ切って、口も聞けなくなったそうです。でも何とか、夜の表彰式&懇親会には遅れながらも辿り着いていただきました。岳社長の威勢のいい進行とともに、関連業からの配慮もいただき賞品がこれでもかと奮発されつつ、夜も更けていくこととなりました。ヘトヘトになりながらも、プレーに参加していただいた皆さま方に感謝します。

明けて8日、まず、ホリエモンの講演会。語りはじめは軽いジャブでしたが、じわじわとホリエモンの本領が発揮されて面白くなり、質問タイムは最高潮となりました。質問された方々には感謝します。(念のため、サクラも用意しましたが、その必要はありませんでした)

大会のメインイベントは式典です。委員会が式典の中核と位置づけた永年勤続優良従業員表彰も心地よく進行し、被表彰者にとっても意義ある大会になったと確信しています。力を合わせ、準備作業の追い込みが功を奏し、落ち着いた式典になりました。参加いただいた来賓はじめ関連業の皆さま方、各支部ほか組合員の皆さま方に感謝します。

記念パーティは、旭川の地が出ました。紙当てクイズ! 『だれだ?レザック77って言ってるのは!』『ルート66はもうないんだ。レザック66って言ってたのは昔の話だ!』という具合だ。紙問屋さんにも軽妙に(本気で?)ご協力いただき大いに盛り上がる場所となりました。

そして、最終日のエクスカージョン。私も参加し、カミさんともどもノンビリさせていただきました。大雪森のガーデン・フラテッロ・ディ・ミクニからの眺望は抜群でした。旭川からは見たことのない大雪山の別の顔です。表紙はレストランからの大雪山と大雪森のガーデンに咲く天空の花『ヒマラヤの青いケシ』です。

いずれに致しましても、この三日間、バッチリ晴天に恵まれました。本文化典旭川大会に陰に日向にご支援いただきましたたくさんの皆さま方には感謝のほかありません。

ありがとうございます。

北海道印刷工業組合副理事長・旭川支部長  
第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会実行委員長

井田多加夫

株式会社井田印刷工房 代表取締役

# 第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会 盛大に開催される

地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう

第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会が、7月7日・8日・9日の3日間、旭川市で「地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう」をテーマに、全道から組合員・賛助会員はじめ来賓・関連業界・全印工連教育研修委員会委員の方々200余人が出席して、旭川グランドホテルをメイン会場に開催された。

7日に記念ゴルフ、8日に記念講演・記念式典・記念パーティ、9日にエキスカージョンが行われた。

記念講演は、講師に堀江貴文氏を迎え、旭川市民文化会館大ホールを会場に、市民の方々も参加し、約1,500人の来場があった。

次回、組合設立80周年を迎える2020年の第32回北海道情報・印刷文化典は札幌支部の主管で開催される。

## 記念講演



堀江貴文氏

記念講演は、午後3時から旭川市民文化会館大ホールで、講師に堀江貴文氏を迎え、1,500人が聴講した。

講師の「ホリエモン」こと堀江貴文氏は、今春にも良質な雪を求めて旭川周辺でスノーボードを楽しみ、地元の焼肉店「馬場ホルモン」やショウガラーメンで有名な「みづの」などを訪れたことを紹介し、「グルメは人を引き寄せる」と旭川地域のポテンシャルを高く評価した一方、全国各地の地域活性化策の問題点にも言及。「だめなポイントは自分たちだけ、身内だけで延々と議論をすることで、自分の良さを分かっていないので新しい視点が生まれてこない。インターネットやスマートフォ

ンが発展し、(魅力的な)店ひとつで観光客を集めることはできるが、皆まだわかっていない。『ミニ東京化』しても東京には絶対に勝てないし、劣化コピーになるだけだ」と指摘し、国内外から観光客を集めるうえで公共交通網と、クレジットカードや電子マネーといった「現金以外」の決済体制を整備することを勧めた。

また、自身の経験から「紙の本は売れている。文字の本は紙の方が売れる。紙の本は棚に置いておきたいので、読んでいるのは1~2割の『積読』になっている」などと、紙の本にはまだ「伸びしろ」があると分析。自身の著書は30分程度で読めるシンプルな構成にしていることについては「時間とお金の関係が逆転し、相対的なパワーバランスが変化した」と、スマホの出現でさまざまなコンテンツに触れることが可能になったことで「暇つぶしの時間を奪い合っている」時代になっていることを考慮したのだという。

さらに「アイデアには価値がないし、大事なものはお金ではなく時間だ」と断言し、素早く動き出す行動力の大切さを強調した。

## 記念式典

記念式典は、午後5時から旭川グランドホテル「瑞雲の間」で開催された。

開会につづき、3年前の札幌大会以降に逝去された





坂野茂義 氏

組合同員8人の冥福を祈り、黙祷を捧げたあと、坂野茂義氏（有旭川坂野代表取締役）の先導で印刷産業人綱領唱和が行われた。

井田多加夫  
実行委員長

次に、井田多加夫 副大会長・実行委員長が、最初に全道各地からの組合同員、賛助会員はじめ来賓・関連業界・全印工連教育研修委員会委員に来旭と参加のお礼を述べ「旭川市は明治23年開村し、鉄道上川線の開通、そして明治33年から35年にわたり、札幌から第7師団の移転などを契機として大きく発展し先の大戦を経て現在に至っている。旭川地域は絶好の季節を迎えた。陸域最大の面積を誇る大雪山国立公園に面し、本大会最終日のエキスカーションではその一端に触れてもらうことになる。式典に先立ち、堀江貴文氏を迎えて記念講演が開催され無事終了した。『地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう』。私どもはこれを旭川大会のテーマとした。平成23年に旭川市は中小企業振興基本条例を制定した。それに歩調を合わせるかのように、私ども地方の地域の印刷業界は少しずつ地域社会に関心を寄せるようになり、旭川大学江口ゼミナールとの共同事業、あるいは難病患者下田修平君の『UDレシピ本』に協力することができた。しかし、今は人口減少、少子高齢化、日銀の発表とは裏腹に経済状況の悪化という悪循環に直面している。従来の経済学は既に無力化し、とりわけ需要の停滞と労働人口の減少は、中小・零細企業にとっては死活問題となっている。全印工連2025計画による地方創生は、産業クラスターやオープンイノベーションを中核キーワードとし、総合的に自社や地域の課題を捉えて解決策を実行する。印刷産業には歴史があり、地域のまとめ役



としての資質を持ち合わせている。その上で、我々に何が出来るかを自らに問わなければならないとしている」と歓迎のあいさつを述べた。

板倉 清  
大会長

来賓紹介、参加支部紹介が行われたあと、板倉 清 大会長が「我が国経済は、各種経済政策により緩やかな景気回復基調にあると言われているが、なお足踏み状態が長期化している。道内印刷業界においても同様の景況感にあり、景気回復は未だ実感できないなかで、社会・経済構造がIoT、AIなどの新しい技術を中心とした移行期にあり、既存需要の縮小・新規需要創造のための業態変革への転換点に対峙し、新しい発想・目線での経営が余儀なくされている。日本経済は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを境に大きく変わるといわれるなか、道内中小印刷業が勝ち残っていくためには、『全印工連2025計画 ー新しい印刷産業へのリ・デザイン』を指南書として熟読玩味し、我々自身が『印刷』を時代に合わせ再定義することにより、立ち位置が見え、将来の事業領域を見出すことができると確信している。こうしたときに、『地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう』をテーマに、地域に根ざした印刷産業を背景に開催する

本文化典は、全道の組合員が一堂に会し、喫緊の問題や課題を共有し、討議を行い、研鑽を重ね、親睦を深め、連携をより強固にし、『企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスの供給に努め、国民生活および文化を支える産業』として、前進を期する誠に時宜を得た意義深いものである。北海道情報・印刷文化典は、昭和25年7月に、当地・旭川の層雲峡で『北海道印刷製本業者懇親大会』として第1回が開催されたのが始まりである。翌年の第2回からは『北海道印刷製本業者大会』、昭和45年の第15回からは『北海道印刷業者大会』となり、平成17年の第27回の旭川大会から現在の『北海道情報・印刷文化典』になっている。文化典の歴史には、ここ旭川が深くかかわっている。今回も、旭川から新しい歴史が生まれることを期待している。本日、長年にわたって企業の繁栄に貢献され、栄えある永年勤続優良従業員表彰を受けられる18人の皆様に敬意と祝意を表するとともに今後も企業の隆盛・発展のため一層の尽力を願いたい」とあいさつを述べた



伊藤英喜 氏

次に、来賓を代表して4人から祝辞が述べられた。

伊藤英喜 経済産業省北海道経済産業局地域経済部長は、「最近の北海道経済は、アベノミクスの経済政策の効果もあり持ち直してきている。

一方で企業活動の面では人手不足や技術者の高齢化、原材料や電気料金の動向に注意を払っていく必要がある。緩やかではあるが景気が回復してきた今こそ企業の稼ぐ力を高め、民間主導の強い北海道経済を作っていかなければならない。そのためには地域経済の担い手である中小企業の設備投資を活発にし、生産現場での人手不足を補い、生産性を向上させ、雇用の確保や賃上げに取り組める事業環境づくりを進める必要がある。政府は、昨年7月から中小企業等経営強化法を策定し赤字企業も活用できる固定資産税の3年間半額の減税措置を実施する一方、本年度からは対象設備を拡大するとともに法人税についても中小企業経営強化税制を創設し、中小企業の設備投資を幅広く後押ししている。北海道経済産業局では、中小企業等経営強化法に基づき中小企業が策定する経営力向上計画の認定事業を行っており、これまで印刷業の30件を含め200件を超える認定を行い減税や低利融資、補助金の優先採択など活用いただい



ている。経済産業省では、6月2日に交付された地域未来投資促進法により設備投資意欲が高く、成長力のある中核企業の税制や予算などで支援する取組を8月にも開始する。北海道経済産業局では、北海道や市町村と連携し企業に未来投資促進法の支援措置の活用を働きかけ、積極的な設備投資により北海道経済の稼ぐ力の好循環を目ざしていく。印刷産業を取り巻く環境は情報技術の発達、デジタル化により多様な変化を続けている。こうしたなか、北海道印刷工業組合では、昨年9月に北海道情報・印刷産業展を一新し、印刷産業の学びと情報発信の場としてHOPE2016を開催し、他産業との連携や技術力の向上、情報加工やコンテンツビジネスの融合など環境変化に機敏に対応できる企業づくりに貢献してきた。今後も北海道の印刷産業を挙げてこうした取組をさらに活発に展開され、印刷産業ならではの新たな価値の創出や新たなビジネスモデルへの挑戦を期待している。北海道経済産業局としても組合員企業の意欲ある取組を経済産業省のさまざまな施策により支援をしていくことを約束する」と述べた。



渡辺明彦 氏

渡辺明彦 北海道上川総合振興局長は、「近年、パソコン、プリンタの発達により家庭で気軽に簡易な印刷ができるなど印刷産業を取り巻く環境は大きく変化しており、高度専門性といった新たな時代のニーズに対応する印刷産業の牽引役として北海道印刷工業組合に期待される役割は非常に大きなものがある。今大会では『地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう』をテーマに、組合員の皆様が意見交換などを行うと伺っており、皆様が連携と親睦を深められることは勿論、印刷業の経営革新や技術向上につなげ、さらには本道経済・文化の一層の発展に寄与されることを期

待している。道としては、本道経済の原動力である中小・小規模企業が、今後も地域に根ざした事業活動を展開していくことができるよう、事業承継の円滑化や創業支援をはじめ新製品開発や市場開拓の支援など、中小企業の経営基盤強化施策を展開し、本道経済の活性化に取り組んでいく」と述べた。



西川将人 氏

西川将人 旭川市長は、「印刷技術の進化は、私たち人々の生活に大きな影響を与えてきた。印刷機、インク、紙の開発による書物の広がりや文化の発展・教育の普及につながり、また私たちの過去の歴史を辿る道標として、その保存能力の高さによってこれまで大きな役割を担ってきている。昨今、IT技術革新・インターネットやスマートフォン等の普及により紙離れということが問題視されているが、その反面、情報の価値が問われている現在において、改めて紙媒体による情報の取り扱いの正確性・確実性が再認識されているのではないかと考えている。旭川市は北海道のほぼ中央に位置している。そういった地理的条件から、かつて道内各地より木材を調達できるということで、旭川には多くの材木会社、家具産業、現在も日本製紙パルプ工場がある。旭川は、紙、木材、印刷産業と非常に深いかわりを持ちながら発展をして来た経緯がある。今日は輸入木材も随分使われているが、豊かな森林資源に恵まれ、家具産業をはじめさまざま木材を活用した産業に、地域の基幹産業としてこれまで旭川の経済を支えてきてもらった。地元の印刷業界の皆様にも町の発展にこれまで大変お世話になり、今日の旭川の基礎ができ上がったものと認識している。近年、家庭内でのプリンタの普及、紙をはじめとするさまざまな原材料価格の高騰による影響など印刷業界を取り巻く環境は決して楽な状況ではないと推察する。しか

し、皆様にはそれぞれの企業の強みを活かしながら、技術革新に取り組んでいただき、厳しい時代を切り開いて来られ、それぞれの立場で消費者のニーズにしっかりと応えて業界を守り、今日まで発展されてきたことに深く敬意を表す。旭川市役所も市民向けの広報紙、市のさまざまな制度改正の案内、周知など、皆様方にはさまざまな場面で力添えをいただいている。IT、ネットが普及している現在ではあるが、印刷物は町づくり、地域のいろいろな情報を的確に市民の皆様へ伝えるという部分では、重要な役割を今日も、またこれからも担っていくと確信している。皆様方にはこれからも、さまざまな技術革新に取り組んでいただき、素晴らしいデザイン、高い印刷技術で消費者、地域の皆さんのニーズに応えていただくことを心から期待をしている。また印刷業界の皆様方を含め、今、人材不足がさまざまな産業において大きな課題になっている。若い世代・人材にしっかりと技術を伝承していかなければ、印刷業界の皆さんの高い技術も次の世代に引き継いでいくことができない。何とか厳しい人材難であるが、そういったものを次世代にしっかりと引き継いでいただくことを期待する。本日は、この式典の後、記念パーティ、そして明日はエキスカッションを予定していると聞いている。この機会に旭川の多様な食材を使った食事、地酒、また少し時間があれば旭川周辺の観光なども楽しんでいただいて、この旭川大会が皆様にとって思い出に残る大会にさせていただくことができれば幸いである」と述べた。



白田真人 氏

白田真人 全日本印刷工業組合連合会会長は、「私たちを取り巻く産業構造は大きく変化をしている。先ほど堀江さんの話にあったように今までと同じビジネスモデルでは到底立ち行かない。時代の変革、産業構

造が大きく変わっているなかで、私たちは、地域に根ざした情報を取りまとめる、コーディネートする、発信されたい方が何を目的で印刷物を作るのか。さらに言うならば、印刷業界は業界・産業の頭に印刷と付いているが、今はもはや紙にインクを載せる印刷だけでは当然ない。WEBサイトも作るし、アプリの開発もするし、イベントの開催もする。ソーシャルネットワークサービスを使ってクチコミも行う。そういった時代の最先端をしっかりと走っていく。そして地域に根ざして、地域の情報発信を担っていく。そういうまさにインテリジェンスな産業である。我々は地域に根ざした情報発信の担い手として、しっかりと自分自身を鼓舞して地域の役に立っていく。そんなことが大事ではないか。そんな環境のなか、全日本印刷工業組合連合会は、4,750社の経営者の皆様の集まりで、それぞれの組合員企業の皆様が経営強化につながるさまざまな諸事業を運営している。そのなかでも直近の顕著な活動は、印刷産業は官公需取引のウエイトが非常に大きく、地方においてはそのウエイトはさらに高いことから、経済産業省、中企庁、3年半前に立ち上げた自民党の衆参議員120名の先生方に参加いただいて運営されている自民党中小印刷産業振興議員連盟と連携を図りながら、全国の皆様から意見・要望をしっかりと聞いたうえで要望活動を行い、国レベルで改善に努めていたが、今月法改正が行われる『中小企業者に関する国等の契約の基本方針』の、その前段となる閣議決定に、我々の印刷業における官公需取引、さらにそのなかにおける著作権の取扱いについて、一歩大きく前進する予定である。詳しくは閣議決定され、その内容に基づいたものが経済産業省、中企庁から発表された後、全印工連の方からも全国の4,750社の皆様に向けて情報としてしっかり発信していく。こういった1社では叶わぬさまざまな経営課題や経営のなかでの障壁、地域だけで叶わないものの声を皆様から集め、動かせるのも全印工連4,750社の力ということになる。国の製造業のなかでは47都道府県どの県においても、印刷産業は事業所数、従業者数、出荷額、加工高どれも3位以内に入る。正に基幹産業である。この大きな力を皆様の要望にしっかり応えて、かたちに変えていきたいと思っている。皆様におかれても印刷産業、日本の基幹産業、地域の基幹産業であるということをしっかり胸に抱いていただきながら今日のこの文化典が実りのあるものとなることを祈念する」



と述べた。

祝電披露につづき、永年勤続優良従業員表彰が行われ、30年勤続表彰2人、20年勤続表彰4人、10年勤続表彰12人を代表して20年勤続表彰の盛永徒之氏（株金子シール）に、板倉理事長から表彰状と記念品が贈られた。（受賞者氏名は11頁に掲載）



盛永徒之氏

受賞者を代表して、盛永徒之氏から「第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会におきまして、多くの皆様のもとで盛大な表彰を挙げていただき、表彰状ならびに記念品を賜りましたことは誠に身に余る光栄に存じます。過ぎ去った長い年月を顧みましても、社員として日々、の行いを積み重ねてきたに過ぎず、表彰に値するような功績は何一つ思い当りませんが、これまで社長はじめたくさんの先輩や上司そして同僚や後輩の皆様にお恵まれここまでやってくることができ、さまざまな仕事を精一杯やり遂げることができたという働く者の喜びはしっかりと掴み取れたものと思っています。今後も社業発展のため、さらには印刷業界発展のため研鑽を重ね努力いたす所存です」と謝辞が述べられた。



金子 正氏

次に、金子 正氏（株金子シール代表取締役）から、「我々は、再定義を成し遂げ、企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスを供給し、国民生活および文化を支える産業として、社会に貢献していくことを宣言する」という、第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会の文化典宣言が提案され、満場の賛成で採択された。（文化典宣言全文は11頁に掲載）

つづいて、2020年に開催する第32回北海道情報・印刷文化典の開催地を板倉大会長から「札幌支部」と発表され、札幌支部の皆さんが「2020年札幌で会



いましょう」の横断幕を携えて登壇し、大会鍵が井田旭川支部長から板倉理事長へ、そして岸札幌支部長に引き継がれた。



岸 昌洋  
札幌支部長

岸 昌洋 札幌支部長が、「3年後2020年ということで、東京オリンピック・パラリンピックと同じ年に開催をさせていただくことになる。3年後ということで、かなり大きな変化がいろいろとあると思う。各社皆さんがそれぞれ変革をしていただくことが非常に大事だと考えている。3年後、北海道印刷工業組合が丁度80周年ということになる。80周年事業と合わせて札幌で2020年に開催させていただくので、札幌支部一同、旭川に負けられないようにおもてなしをするのでお越しく下さい」と呼びかけた。

以上で、第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会記念式典を終了した。

### 記念パーティ

記念パーティは、午後6時30分から旭川グランドホテル「彩雲の間」で開催された。

オープニングに地元旭川出身、津軽三味線日本一の菅野崇山流 菅野優斗氏の津軽三味線独奏が行わ

れ、開会した。



中村裕一  
副実行委員長

つづいて、中村裕一 副実行委員長が、「今日は、道内各地はもとより東京、宮城、兵庫、四国は香川県から、そして遠く九州は豪雨の大変な時に佐賀県から参会いただいた。旭川は、食材の宝庫、豊かである。それと大雪山から流れる伏流水を使った地酒が非常に美味しい。皆さんの喉ごしに満足いただける酒がある。今日は地酒コーナーに地元の三大酒蔵の酒を用意させていただいた。今日は美味しい食とお酒で、皆さんの普段の疲れを癒していただき、そして明日への活力にさせていただければ幸いと思っている」と歓迎のあいさつを述べた。

次に、板倉大会長が「記念講演にもあったように、それを実行できるように、ここで皆さんの親睦を図っていただきたい。1つだけお願いがある。9月1日・2日、HOPE2017を開催する。その際、全印工連本部より実際に委員会で立ち上げたことを6人の委員長の方に来ていただき、本人の口から直接聞ける。これには全員参加していただきたい」とあいさつを述べた。





松野和彦氏

つづいて、来賓を代表して松野和彦 旭川商工会議所副会頭から「最近の経済情勢は緩やかな景気回復が続いている一方で、弱い個人消費、原材料価格の高騰、厳しさの増す雇用状況など未だ足元から景気回復を実感するまでには至っていない。そうしたなか、印刷業界を取り巻く環境としても、印刷媒体の電子化、さらには情報化社会の進展があり、求められるサービスや技術が非常に多様化していることから苦労が絶えないと伺っている。そうした状況を打開するためには各自の強みを活かした取組が重要である。現下の厳しい経済環境のなかではあるが、皆様方には今大会において地域間の連携を図りつつ、今後業界が担うべき役割と発展性について討議をいただき、印刷業界の振興発展はもとより、ひいては地域の活性化についても尽力賜りますようお願い申し上げます。旭川商工会議所としても、先般、旭川経済が中・長期に目指す姿を展望した旭川成長経済ビジョンを作成したところであり、今後、産業振興をはじめとした重点項目において具体策を提示し、旭川の経済発展を実現するため全力を尽くしていくので、皆様の支援・協力をお願い申し上げます」と祝辞が述べられた。



上野裕之氏

つづいて、上野裕之 共同印刷機材株式会社代表取締役社長が「皆様、承知のとおり業界は多様化しており、各方面でいろいろな競争が展開され

ている。今日はこれから印刷業に何が必要なのかを皆様とともに意見交換し、これからの経営に役立てて行きたいと思っている」と述べ、乾杯し開宴した。

会食と歓談が続くなか、アトラクションとして、菅野孝山氏（祖父）、二代目菅野孝山氏（父）、菅野優斗氏による親子三代の競演による津軽三味線の演奏が披露されたあと、地元旭川の特産品を景品とした大抽選会が行われ、大いに盛り上がった。



植平有治  
副実行委員長

祝宴が続くなか、植平有治 副実行委員長が「皆さんお楽しみいただきましたか。昨日の記念ゴルフ、今日の講演会、式典、今回のパーティで終わりに近づいてきた。皆さん心地よく飲まれたと思う。中締めというのはこれからだという意味である。旭川の地で、三・六が待っている。是非ともお越しいただいて、出来るだけ多くのお金を落としていただきたい。これは旭川支部のお願いである」と中締めのあいさつを述べ、記念パーティを終了した。

### 記念ゴルフ

記念ゴルフは、7日午後1時からフォレスト旭川コントリークラブで35人が参加して開催された。

表彰式は、午後7時から旭川市内のクラブプリンスで行われ、ダブルペリアによる成績発表が行われ、懇親と親睦の輪を深めた。

上位入賞者は下表のとおり。

				G	H	N
1位	岳 隆 久	(有)岳総合製本所	旭 川	83	13.2	69.8
2位	藤 田 一 浩	東洋インキ北海道(株)	札 幌	96	24.0	72.0
3位	加 藤 順 孝	阿部総合印刷(株)	函 館	87	14.4	72.6
4位	植 平 有 治	植平印刷(株)	旭 川	97	24.0	73.0
5位	大 和 繁 樹	(株)ヒロミ産業	札 幌	94	20.4	73.6
ベストロ賞	服 部 晴 明	服部プロセス(株)	兵庫県	79		

## 文化典宣言

北海道印刷業界は、景気回復は未だ実感できないなかで、社会・経済構造がIoT、AI等の新しい技術を中心とした移行期にあり、既存需要の縮小・新規需要創造のための業態変革への転換点に対峙し、新しい発想・目線での経営が余儀なくされている。

この難局を克服し、勝ち残っていくためには、新しい印刷産業へのリ・デザインが求められている。

我々印刷産業人は、四季が明瞭な北北海道の拠点都市・旭川市に「地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう」をテーマのもと結集し、組合連携組織の持つ力に改めて意識を集中し、生産性の向上と本業の稼ぐ力強化のため研鑽を重ね、自らの経営力向上に努め、地域に根ざした印刷産業として発展の道を探求していく。

我々は、再定義を成し遂げ、企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスを供給し、国民生活および文化を支える産業として社会に貢献していくことを宣言する。

平成29年7月8日

第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会

## 永年勤続優良従業員表彰

### 《30年表彰》

支部名	氏名	会社名
旭川	岩木 幸吉	あさひ印刷有限会社
	沼倉 圭子	あさひ印刷有限会社

### 《20年表彰》

支部名	氏名	会社名
旭川	盛永 徒之	株式会社金子シール
	菊地 貴之	株式会社山紀
	辻村 千佳子	株式会社山紀
	山本 美知子	中村印刷株式会社

### 《10年表彰》

支部名	氏名	会社名
旭川	井田 浩平	株式会社井田印刷工房
	井田 修平	株式会社井田印刷工房
	田辺 集子	植平印刷株式会社
	田中 一美	植平印刷株式会社
	三野 政明	植平印刷株式会社
	川本 博則	植平印刷株式会社
	平田 修士	植平印刷株式会社
	蝶野 由希子	株式会社山紀
	佐藤 弘和	株式会社山紀
	村井 滋敏	中村印刷株式会社
	塚田 裕司	株式会社プリコム旭川
	丸井 和高	株式会社プリコム旭川



HOPE実行委員会  
会長 板倉 清

## 「HOPE2017」の開催にあたって

HOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO) は、昨今の印刷産業の置かれている状況に呼応して、これまで培ってきました「北海道情報・印刷産業展」の伝統と成果を踏まえて、昨年からの装いを新たに学びと情報発信の場として開催しています。

第2回となる今年のHOPE2017は、「志あふれる印刷産業へ、期待される価値を求めて」をテーマに開催します。

お蔭様で展示会には42社77小間のご出展をいただき、セミナーは14セッションのご出講をいただき、9月1日(金)・2日(土)の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロを会場に開催の運びとなりました。

ご出展ならびにご出講いただきました印刷・情報機器、資材メーカーならびに関係各位の皆様のご協力とご理解に心から厚くお礼申し上げます。

昨今の道内印刷業界を取り巻く環境は、景気回復は未だ実感できないなかで、社会・経済構造がIoT、AIなどの新しい技術を中心とした移行期にあり、既存需要の縮小・新規需要創造のための業態変革への転換点に対峙し、新しい発想・目線での経営が余儀なくされており、勝ち残っていくためには、新しい印刷産業へのリ・デザインが求められています。

そのためには、ハードとソフトの両方に着眼して、新しい目線で印刷産業を捉えていかなければなりません。

我々が、再定義を成し遂げ、社会の要求に応えるビジネスを推し進めるためには、自社の設備や技術を向上させることはもとよりであります。同業者・関連業者・隣接異業種とのコラボレーションを積極的に展開することも勝ち残りのための方策の1つです。

加えて、先進事例、経営・技術環境の動向やユーザーの要望・印刷業界への見かたなどを学び、自社の指針を見出すことは勝ち残りのための絶対条件になることは自明の理です。

HOPE2017は、これらの要求に応える十分な情報発信と学びのプログラムを兼ね備えているものと自信を持っています。

新しいかたちの産業として発展を続ける印刷産業を、自身の目で確認するとともに、ユーザーの皆様や印刷産業に興味を持たれる若人にその姿を的確に伝えるため、広く声を掛け合って、「HOPE2017」にご来場され、展示会をご見学いただき、セミナーをご聴講くださいますよう切望して、開会のごあいさつとします。

# HOPE2017

9月1日(金)・2日(土) / アクセスサッポロで開催

HOPE実行委員会は(北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合)は、HOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)2017を開催する。

**今**、印刷関連業界は、取り巻く環境が様変わりし、未曾有の転換期にあり、勝ち残っていくためには、印刷産業へのリ・デザインが求められている。

そのためには、ハードとソフトの両方に着眼して、新しい目線で印刷産業を捉えなければならない。

「HOPE2017」は、この期待に応えるため、これまで23回にわたり開催してきた「北海道情報・印刷産業展」の伝統と成果を踏まえ、内容とスタイルを変えて、学びと情報発信に主眼を置き、印刷産業が発展を遂げられる産業展として、装いを新たに昨年から開催し、今年が2回目となる。

## 【主催】

HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合

北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合

北海道製本工業組合

北海道フォーム印刷工業会

北海道紙器段ボール箱工業組合

## 【後援】

経済産業省北海道経済産業局

北海道

札幌市

北海道中小企業団体中央会

札幌商工会議所

北海道中小企業家同友会

## 【協賛】

(株)印刷出版研究所

(株)日本印刷新聞社

ニュープリンティング(株)

## 【会期】

平成29年9月1日(金)・2日(土) 10:00~17:00



## 【会場】

アクセスサッポロ(札幌市白石区流通センター4丁目3番55号)

展示会:Dホール

セミナー:小展示場

レセプションホール

研修室A

## 【交通案内】

公共交通機関利用の場合は、地下鉄東西線「大谷地駅」またはJR函館本線「厚別駅」が最寄り駅になる。車で来場の場合は、無料駐車場が利用できる。

## 【展示会出展社】

42社、77小間+特設ブース

## 【展示会出展機器】

印刷機械、プリプレス機器、製本機器、情報機器、加工機械等総合印刷機器、各種ソフトウェア、印刷製品等

## 【セミナー】

基調講演:1セッション

パネルディスカッション:1セッション

出展社企画セミナー:12セッション

## 《 基調講演 》

# テーマ 「見える化」による業務改革とそれを支える公平な評価制度

「見える化」というと、MISやBIなどのシステムの話になりがちです。しかし、不揃いで鮮度が低いデータによる結果管理だけでは実際の経営判断には使えません。いい結果を出すためには、効果的な「見える化」による先行管理で、従業員それぞれが日々の行動を自発的に変えていかなければならないのです。その一方で、変化によって効果が得られても、給与・待遇がそのままだったらモチベーションが下がっていきます。その変化を持続させるために必要となるのが、透明で公平な評価制度なのです。

- ◆ 日 時：平成29年9月1日(金) 10:00~12:00
- ◆ 会 場：アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3-55
- ◆ テ ー マ：「見える化」による業務改革とそれを支える公平な評価制度
- ◆ 講 師：作道印刷株式会社 代表取締役 作道孝行 氏（全日本印刷工業組合連合会副会長）
- ◆ 受講申込：次のいずれかによりお申し込みください。  
 ①公式ガイドブック折込の受講申込書に必要事項を記入の上、FAX(011-595-8072)へ送信する。  
 ②北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>) から専用フォームにより申し込む。
- ◆ 申込期日：平成29年8月25日(金)〔定員になり次第締め切ります〕

### 講師紹介



**作道孝行 氏** 作道印刷株式会社 代表取締役

1962年大阪府生まれ（54歳）。  
 1986年に同志社大学を卒業後、作道印刷に入社。パッケージ・商業印刷、出版印刷と幅広く営業活動を行う。1995年より社内システムの担当となり、自社の見積管理・受注管理・原価管理のシステムを開発する。また、カタログ作成における商品DBの開発や、自動組版の研究開発をし、制作工程の効率化を図る。2001年に代表取締役に就任。現在は全社的な合理化・Web活用による顧客サービス強化などの推進を行っている。

### 主な役職歴

1986年（昭和61年）	作道印刷株式会社入社
1996年（平成8年）	作道印刷株式会社 取締役
2001年（平成13年）	作道印刷株式会社 代表取締役
2004年（平成16年）	大阪府印刷工業組合 理事
2005年（平成17年）	大阪青年印刷人クラブ 会長
2008年（平成20年）	大阪府印刷工業組合東和支部 支部長／大阪府印刷工業組合 常務理事（経営革新マーケティング委員会 委員長）
2009年（平成21年）	全国印刷緑友会 会長
2010年（平成22年）	大阪府印刷工業組合 副理事長
2012年（平成24年）	全日本印刷工業組合連合会 常務理事（教育研修委員会 副委員長）／近畿地区印刷協議会 会長
2016年（平成28年）	全日本印刷工業組合連合会 副会長／大阪府印刷工業組合 理事長／大阪印刷関連団体協議会 会長

- 主 催：HOPE実行委員会  
（北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合）
- 後 援：経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道中小企業団体中央会、札幌商工会議所  
 北海道中小企業家同友会

# セミナー／第1日 [受講料無料：申込は<http://www.print.or.jp>からできます]

## 9月1日金

[会場] A：小展示場 B：レセプションホール C：研修室A

時間	会場	セミナー番号	主催会社	テーマ	講師
10:00 ～ 12:00	A	基調講演	HOPE実行委員会	「見える化」による業務改革とそれを支える公平な評価制度	作道印刷株式会社 代表取締役 全日本印刷工業組合連合会 副会長 作道孝行 氏
		講演内容			「見える化」というと、MISやBIなどのシステムの話になりがちです。しかし、不揃いで鮮度が低いデータによる結果管理だけでは実際の経営判断には使えません。いい結果を出すためには、効果的な「見える化」による先行管理で、従業員それぞれが日々の行動を自発的に変えていかなければならないのです。その一方で、変化によって効果が得られても、給与・待遇がそのままだったらモチベーションが下がっていきます。その変化を持続させるために必要となるのが、透明で公平な評価制度なのです。
13:00 ～ 14:30	A	①	リコージャパン(株)	分かる、伝わるを考えた情報作成を。 ～メディアユニバーサルデザイン (MUD) で 情報保障を実現し他社との差別化を図る～	株式会社一心社 代表取締役社長 メディア・ユニバーサル・デザイン協会 理事長 浦久保康裕 氏
		講演内容			2016年4月より「障害者差別解消法」「改正障害者雇用促進法」が施行されたことをご存知ですか？ 情報伝達分野における合理的配慮が義務化になります。高齢者、障がい者は勿論のこと海外からの渡航者、色覚障がい者、子供など誰も見やすく、伝わる情報作成が今、求められています。そして、2020年東京オリパラに向けた情報インフラ整備も本格的に始まります。法令順守、社会貢献的役割は勿論のこと、MUDの実践で他社との差別化を図りビジネスチャンスを広げるチャンスでもあります。当セミナーでは実例を交えながら分かりやすくMUDをお伝えします。
	B	②	キヤノンマーケティング ジャパン(株)	AGFAが提唱するスマートワークフ ローとCanonデジタル印刷機の相互 連携による導入効果	日本アグフア・ゲバルト株式会社 マーケティング本部 システムコンサルタントグループ マネージャー 兼田克史 氏
		講演内容			アグフアは、世界で一番早くPDFやJDFに対応したワークフロー「アポジー」を世界に展開し、更にクラウド技術を融合した「アポジークラウド」により、印刷会社のIT化・自動化を推進しています。 本セミナーでは、IoT対応やスマートファクトリー構想からさらなる自動化を目指したスマートワークフロー「アポジー」とCanon ImagePRESSの相互連携による導入効果とその事例について、ご紹介いたします。
15:00 ～ 16:30	C	③	(株)小森コーポレーション	枚葉印刷機械の トラブルシューティング ～不機嫌な印刷現場の直し方～	株式会社小森コーポレーション PESP事業推進部 営業技術課 白石 徹 氏
		講演内容			印刷事故が起きる⇒刷り直しや検品作業に追われ⇒稼働率低下および残業対応⇒本来行うべきメンテナンス作業や社員教育の時間が無くなり⇒更に品質の低下⇒また印刷事故が多発する。このような負のスパイラルを断ち切れなく、不機嫌な現場を作り出していないでしょうか。 セミナーでは代表的なトラブル「ダブり、条目、ゴーストなど」サンプルを見て頂きながら、トラブル対策を解説いたします。トラブルを削減させ、ご機嫌な現場への改善アドバイスを行います。
15:00 ～ 16:30	A	④	富士フイルム グローバルグラフィック システムズ(株)	ものづくり補助金の申請書作成 ポイント・税制優遇情報の紹介	富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 技術二部 課長 野本 学 氏
		講演内容			ものづくり補助金は、中小企業の経営力強化を目的に今後も実施されると思われます。 本講演では、テーマはどう設定すれば良いか？テーマを決めた後、どのようにストーリーを作り上げるか等、過去の事例の分析をもとに申請に役立つ情報をご提供いたします。 あわせて、税制優遇情報を詳しくご説明いたします。
	B	⑤	ハイデル・フォーラム21 北海道地区会	企業経営における人材育成と 社員の誇り	株式会社クイックス 代表取締役社長 岡本 泰 氏
		講演内容			メディア多様化の時代に、印刷会社としてどのように「ものづくりの伝統と誇り」を守りながら「お客様のニーズに応えるサービス提供」を行うことができるのか、また働き方改革が求められる職場において、社員に何を求め、どのような教育を行っているのかなど、「印刷業」から「情報デザイン業」への業態進化を続けています株式会社クイックス様の取り組みについてご教示いただけます。
	C	⑥	コニカミノルタジャパン(株)	コニカミノルタの 顧客付加価値提案の取り組み ～顧客マーケティング支援の事例紹介～	コニカミノルタジャパン株式会社 PPG事業本部 マーケティング&サポート統括部 部長 寺崎 薫 氏 PPG事業本部 IP事業推進部 部長 須田 徹 氏
		講演内容			全てクライアントへのマーケティング提案、販促支援の視点で、コニカミノルタの考える付加価値提案をご紹介します。内容としては、1)リアルとデジタル融合のマーケティング支援、2)IoTのマーケティング活用、3)デジタル加飾による付加価値マーケティングの3部構成となっています。いずれの内容もそこから生まれるプリント、クライアントへの提案のヒントがあります。

# 《パネルディスカッション》

## 全印工連2025計画「リ・デザインで、印刷はこう変わる!」

2016年に発表された『全印工連2025計画』。「印刷」という言葉が持つ固定化されたイメージを「新しい印刷産業へのリ・デザイン」として再定義しつつ、2025年の社会の姿を想像し、その中で印刷産業がなくてはならない産業としてどのような役割を担っていくべきなのかという、産業全体のビジョンを示した「設計図」とも言えるべき提言書です。『全印工連2025計画』の発行に直接・間接に関わった6名の当事者と、この提言書が示す印刷の未来について考えます。

- ◆ 日 時 : 平成29年9月2日(土) 10:00~12:00
- ◆ 会 場 : アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3-55
- ◆ テーマ : 全印工連2025計画「リ・デザインで、印刷はこう変わる!」
- ◆ 受講申込 : 次のいずれかによりお申し込みください。
  - ①公式ガイドブック折込の受講申込書に必要事項を記入の上、FAX(011-595-8072)へ送信する。
  - ②北海道印刷工業組合ホームページ(<http://www.print.or.jp>)から専用フォームにより申し込む。
- ◆ 申込期日 : 平成29年8月25日(金)〔定員になり次第締め切ります〕

ファシリテーター	<b>江森克治氏</b> 株式会社協進印刷 代表取締役
	 <p>早稲田大学商学部卒業。2007年、地方自治体初の本格的CSR認定制度「横浜型地域貢献企業認定制度」を産学官連携で立ち上げる。2010年~11年、全国青年印刷人協議会議長に就任。2012年、業界団体としては日本初となる「全印工連CSR認定制度」創設に携わる。2013年、全日本印刷工業組合連合会から発行の「印刷道〜ソリューション・プロバイダーへの深化〜」編集委員。2016年「全印工連2025計画〜新しい印刷産業へのリ・デザイン〜」編集責任者。同年平成28年度コンテンツ産業強化対策支援事業(中小印刷産業の知財活用に関する調査事業)委員。</p>

パネリスト	<b>池田幸寛氏</b> 池田印刷株式会社 代表取締役
	 <p>東京工芸大学卒業後、池田印刷株式会社に入社、在職しながら中小企業大学校経営戦略コースに通う。平成7年4月代表取締役に就任し現在に至る。企業として得意な分野は感性価値の印刷物ではあるが、印刷会社として品質以外に他社との差別化と社会的責任を考え、CSRを経営の根幹とし、平成15年にISO14001を取得後、ISO9001、Pマーク、GP、MUD、FSC認証等CSRの原点となる認定を取得。平成17年よりCSRレポートを発行し、本年12年目(vol.12)となる。この地道な活動が現在、日本社会でも要求される時代となり、全日本印刷工業組合連合会にて全国の同業仲間へ情報を開示し、1社でも多くの印刷業社が地域に信頼される企業になるよう同島村会長よりミッションが下り、同常務理事、CSR推進専門委員会委員長を歴任し、現在は環境労務委員会委員長。</p>

パネリスト	<b>滝澤光正氏</b> 滝澤新聞印刷株式会社 代表取締役
	 <p>1965年東京都にて出生、早稲田大学教育学部卒業。他業界で6年間の勤務を経て、1992年、滝澤新聞印刷株式会社(東京都新宿区)入社、2005年より代表取締役に。2012~2014年、全印工連全国青年印刷人協議会議長。2012~2016年、全日本印刷工業組合連合会産業戦略デザイン室委員、「印刷道〜ソリューションプロバイダーへの深化〜」全印工連2025計画〜新しい印刷産業へのリ・デザイン〜の発行に携わる。2016年2月、東京にて開催された「Print Next 2016」において運営委員長を務める。現在、全日本印刷工業組合連合会副会長、同産業戦略デザイン室委員長、東京都印刷工業組合副理事長。</p>

パネリスト	<b>瀬田章弘氏</b> 弘和印刷株式会社 代表取締役
	 <p>1966年東京生まれ。1989年中央大学商学部会計学科卒。1989年、現ハイデルベルグ・ジャパン株式会社入社。1993年、家業である弘和印刷株式会社入社。1999年、クリエイティブプロダクション株式会社アイズを設立。2004年、弘和印刷(株)代表取締役に就任。2006~2007年、全国青年印刷人協議会副議長、2012~2016年、全日本印刷工業組合連合会常務理事経営革新マーケティング委員長、同産業戦略デザイン室副委員長、2016年~同参与、産業戦略デザイン室委員、東京都印刷工業組合総代・理事・足立支部長。</p>

パネリスト	<b>小野綾子氏</b> 株式会社プライズコミュニケーション 代表取締役
	 <p>1956年帯広市生まれ。1980年、プライズコミュニケーションの前身に入社。総務・経理を経験し、1992年、取締役として財務担当。2000年、負債30億円にて会社経営破綻、民事再生申立て。同年4月代表取締役に就任。2010年、債務の完済。2014年、新規ペット事業に参入。商品開発から製造販売までのメーカーとして進む。2016年、全日本印刷工業組合連合会常務理事・ダイバーシティ推進委員長に就任し現在に至る。</p>

パネリスト	<b>三島秀夫氏</b> 六三印刷株式会社 専務取締役
	 <p>1963年、東京都国立市出身。スポーツ用品販売会社で営業、テニスの指導に携わる。1992年、六三印刷株式会社入社。製造管理部門を中心に従事し、ISO14001、ISO27001などの管理責任者を勤める。2015年、同社専務取締役。全日本印刷工業組合連合会では全国青年印刷人協議会副議長、CSR推進専門委員会副委員長、女性活躍推進委員会副委員長などをつとめたのち、2016年に常務理事(CSR推進専門委員会委員長)に就任。</p>

主催 : HOPE実行委員会  
 (北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合)

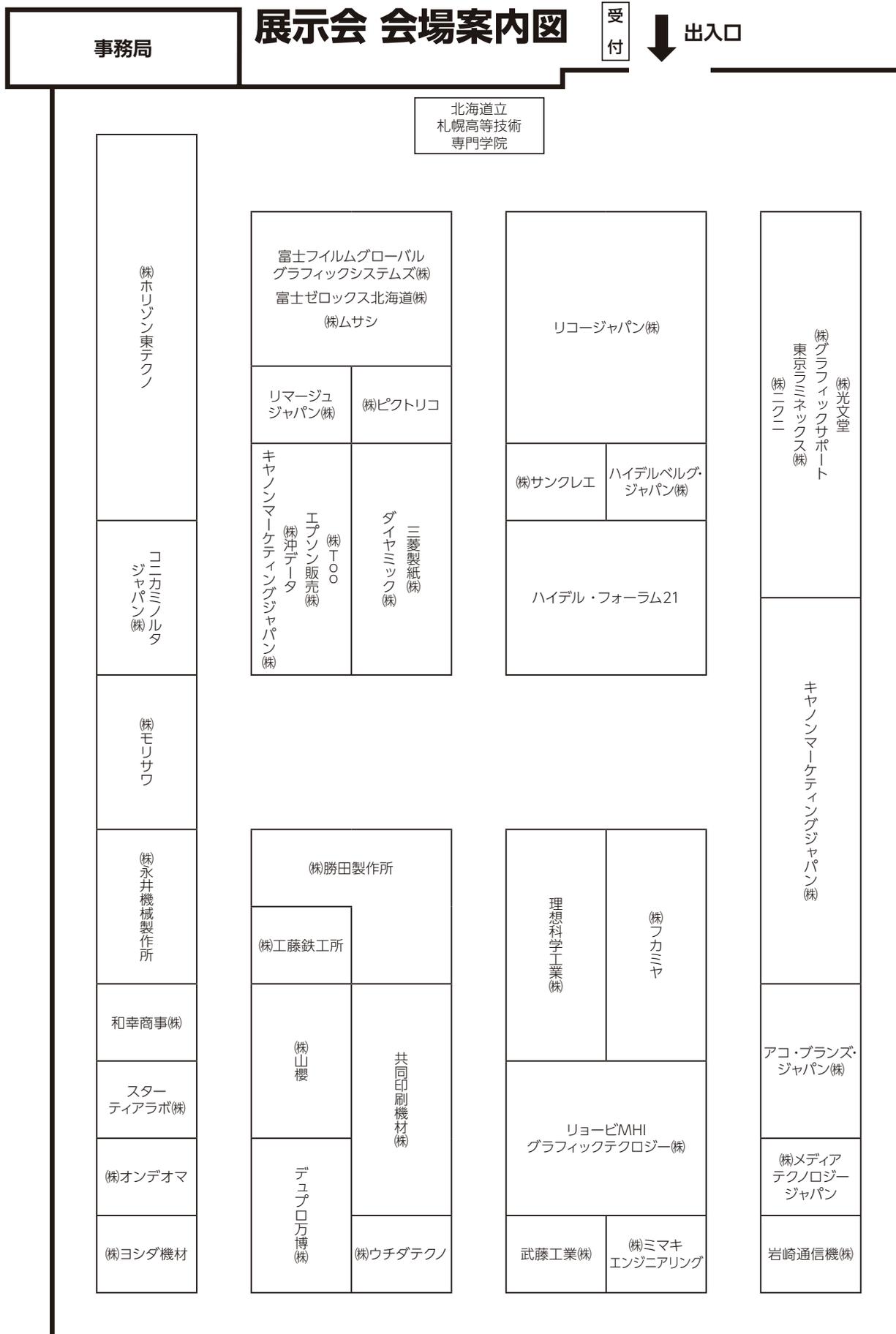
後援 : 経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道中小企業団体中央会、札幌商工会議所、北海道中小企業家同友会

# セミナー／第2日 [受講料無料：申込は<http://www.print.or.jp>からできます]

# 9月2日

[会場] A：小展示場 B：レセプションホール C：研修室A

時間	会場	セミナー番号	主催会社	テーマ	講師
10:00 ～ 12:00	A	パネルディスカッション	HOPE実行委員会	全印工連2025計画 「リ・デザインで、印刷はこう変わる！」	[ファシリテーター] 株式会社協進印刷 代表取締役 江森克治 氏 [パネリスト] 池田印刷株式会社 代表取締役 池田幸寛 氏 滝澤新聞印刷株式会社 代表取締役 滝澤光正 氏 弘和印刷株式会社 代表取締役 瀬田章弘 氏 株式会社プライズコミュニケーション 代表取締役 小野綾子 氏 六三印刷株式会社 専務取締役 三島秀夫 氏
					講演内容
13:00 ～ 14:30	A	⑦	(株)モリスワ	「戸谷メソッド」 営業が楽しくて仕方が無い！ 右肩上がりの波をつくる	Sorriso(ソリーゾ) ビジネススキルインストラクター 戸谷有里子 氏
		講演内容	印刷産業を中心とするこの業界は、デジタル化の波を受け、継続的な競争が続く中、第一線に立つ営業社員は多くの悩みを抱えています。今回ご紹介する「営業が楽しくて仕方が無い！ 右肩上がりの波をつくる」では、19年間右肩上がりの結果を出し続けた具体的な「戸谷メソッド」をお伝えいたします。講師自らの経験を体系化され、誰でも使える手法がわかりやすいと好評のセミナーです。		
	B	⑧	富士ゼロックス(株)	webとPODを活かした おもてなしプロモーション ～顧客価値をとらえ、効果の高い バージョン戦略を実現する～	富士ゼロックス株式会社 市場・営業戦略部 営業企画グループ 柳原公揮 氏
	講演内容	顧客の心理的価値を起点に置いたマーケティング設計は、非常に重要です。購買や契約の瞬間に辿り着くまでの顧客心理工程を段階的に定義する「顧客価値の体系化」。また、段階毎に効果のある共通情報の提供、あるいは個別メッセージで、顧客心理工程を進捗する「ステージ毎の施策設計」。これらを踏まえた戦略設計により、契約率や購買率の向上につながる統合型マーケティングコミュニケーションが実現されます。当セミナーでは、『第31回全日本DM大賞で金賞』を受賞した早稲田大学校友会様の事例を踏まえ、この2軸の設計とステージ毎の最適な施策となるwebやPODを活用したバージョンング (One to One) もご案内していきます。			
	C	⑨	東洋インキ北海道(株)	進化する「高感度/LED」UV印刷	東洋インキ株式会社 技術センター テクニカルソリューションセンター センター長 細井 功 氏
	講演内容	従来の油性のオフセット印刷から、UV化への切り替えがかなりのスピードで進んでいます。各印刷機メーカーの出荷状況も新台に関しては、ほぼ高感度UV・LED-UV機にシフト、また油性機からUV機への変更も多いと聞きます。UV化することによって得られる効果を機能面や採算面から検証を加え、更にはUVだからこそ出来る新たな可能性について「進化」の視点で将来トレンドを探っていきます。			
15:00 ～ 16:30	A	⑩	リコージャパン(株)	響くブランディングデザイン	株式会社SEデザイン 代表取締役社長 武蔵野美術大学 基礎デザイン学科 デザイン情報学科講師 篠崎晃一 氏
		講演内容	あらゆる場面でオンラインメディアの活用が進んでいる現在、既存の市場を守るだけでなく、いち早く新市場に向けた商品・サービスを展開していかなければなりません。このセミナーでは、デザインやブランドの概念を整理して、現在のビジネス環境に対応可能なしっかりとしたビジネスモデルの開発を背景に、製品やサービスの価値転換を起こす新たなブランディングの発想について解説します。		
	B	⑪	コダック(同)	明日から使える完全無処理CTPプレート ～SONORA XJが市場に受け入れられた訳とは？ &ワークフローソリューションの進化と今後の展望	コダック合同会社 プロセスフリープレート推進室 室長 中川武志 氏 ソフトウェア&ソリューション事業部UWS本部 本部長 根本憲之 氏
		講演内容	環境対応、コスト削減の観点で高い注目を集めている完全無処理版CTPプレート。SONORA XJはいち早くUV印刷にも対応し、「普通に刷れる」その実力が評価され、国内約300社の導入実績を誇ります。本セミナーでは多数の事例を交えてその性能をご紹介します。デジタル印刷機器連携を図りハイブリッドワークフローへ進化したPRINERGYシリーズ、データセキュリティ強化に有効なPRINERGYクラウドなど、コスト削減と生産性向上に貢献するワークフローソリューションをご紹介します。		
	C	⑫	環境保護印刷推進協議会	私たちは「環境」にこだわる 「理由」があります	環境保護印刷推進協議会 元理事/現WGアドバイザー 小野克巳 氏 WGスタッフ 北濃克海 氏
	講演内容	①印刷は「環境」にやさしいメディアです 冊子をもとに、印刷物は「環境」にやさしいということの内容などをプレゼンします。 ②「Branding」《環境経営》の成功事例に学ぶ 「クリオネマーク」やエコマークを企業ブランディングとして取り組み、その成果、等々の実例などを「実務経験者」と対談形式でお話しをします。 ③クリオネマーク(環境保護印刷マーク)の概要説明(予定)			



# HOPE2017 出展一覧

## アコ・ブランズ・ジャパン(株)

オートラミネーター6200S PLUS  
デスクトップラミネーターH355 A3  
ツインループバインドS310

## 岩崎通信機(株)

anytronデジタルカラーラベルプレスany-002  
ブラボー! マット2  
マルチカードスリッターきりっ子MCX-AR

## (株)ウチダテクノ

紙計数機カウントロンAT  
帯掛機テーピットWX-P  
Aero Cut nanoプラス

## エプソン販売(株)

高速 A3複合機100枚/分モデル スマートチャージ  
LX-10000F

## (株)沖データ

高速プロフェッショナルLEDプリンタMICROLINE  
VINCI C941dn

## (株)オンデオマ

web名刺受発注システム

## (株)勝田製作所

断裁機SH430HOWJMC-7  
断裁機SH380HOWJMC-7

## キヤノンマーケティングジャパン(株)

カラーオンデマンドプリンタimagePRESS C850  
カラーオンデマンドプリンタimagePRESS C65  
varioPRINT135

## 共同印刷機材(株)

卓上カレンダー作製機  
筋入機

## (株)工藤鉄工所

紙揃機クドエース1000MJC-14

## (株)グラフィックサポート

cardinpack  
XEROX C5000d  
Check print

## (株)光文堂

KBDセキュリティバリープリント  
KBDエアーLED  
KBDエアーディスプレイ  
KBDムービングセクション  
KBDクリストリームミニ  
KBD V-color  
KBD ID-FX  
KBDスピンミキサー  
KBDフィダーUF-01  
KBD WISE BOOK



昨年のHOPE2016の様子

## コニカミノルタジャパン(株)

AccurioPRESS C2070一式  
名刺カッター  
カッティングプロッター

## (株)サンクレエ

ひぐま6plus

## スターティアラボ(株)

AR(拡張現実) サービス「COCOAR」  
電子ブック作成サービス「ActiBook」  
オリジナルアプリ作成サービス「APPGoose」

## ダイヤミック(株)・三菱製紙(株)

サーマルCTP(四六半裁対応)MADIATH  
フレキシブルCTP(菊半裁判ワイド対応)VDP-CF307  
現像レス小型CTPT DP-459II  
PUR製本機PUR-430  
ダイレクトスクリーン製版機MDS-360

## (株)Too

PDF校正ソフトProof Checker PRO  
パッケージデザイン向け文字検版支援ソフトウェア  
「フォルトファインダー プロ」  
検査・検版システム「Hallmarkerシリーズ」  
Office新旧比較校正システム「新旧文書」  
制作・プリプレスワークフロー自動化/  
設計・運用ソリューションSWITCH  
PDFワークフローPitStop Pro

## デュプロ万博(株)

カッタークリーサDC-646  
コレクター中綴じシステムDSL-10/60TL+DBM-600  
マルチフィニッシャーDC-516  
宛名印刷機



昨年のHOPE2016の様子

**東京ラミネックス(株)**

TORAMI ZD  
エアコンプレッサー  
TOLAMI SDX400  
RSL-382L

**(株)永井機械製作所**

コンピュータ断裁機

**(株)ニクニ**

エバークリーンECQ-503

**ハイデル・フォーラム21ポストプレス研究会**

製本加工物展示紹介

**ハイデルベルグ・ジャパン(株)**

デジタル印刷機Versafire CV

**(株)ピクトリコ**

ピクトリコプルーフ(インクジェット用紙)  
インクジェット製版システム

**(株)フカミヤ**

FujiXerox Versant80PRESS  
Dc Cutter

**富士ゼロックス北海道(株)**

カラー・オンデマンド・パブリッシング・システム  
Versant3100Press  
外付けコントローラーVersant3100Press  
プリンターサーバーディスプレイ  
大容量スタッカー  
中綴じフィニッシャーD4  
トリマースクエアフォールド  
インターフェイスモジュール

**富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)**

次世代ハイブリッドワークフロー-XMF CompleteV6.5  
次世代ハイブリッドワークフロー-XMF Rimore R10.5  
色見本色合わせシステム Real Match Assistant  
インクジェットデジタル印刷機(パネル展示・出力サンプル)

**北海道立札幌高等技術専門学院**

電子印刷科紹介

**(株)ホリゾン東テクノ**

無線綴機BQ-270V、BQ-P80  
自動筋入れ折機CRA-36  
シートカット&クリーサSMISL-100  
ロータリーダイカットRD-4055・ST-4055  
紙折機AFC-566FKT・PST

**(株)ミマキエンジニアリング**

UVプリンターUJF-6042MKⅡ  
カッティングプロッタCFL-605RT

**(株)ムサシ**

名刺ハガキプリンターMP300Duo  
オンデマンドプリンター用光沢加工機DC-2

**武藤工業(株)**

UVインクジェットプリンターVJ-426UF  
レーザー加工機VLS2.30  
集塵脱臭装置NI-HE50

**(株)メディアテクノロジー・ジャパン**

ワークフローソリューションEQUIOS ver5.0

**(株)モリサワ**

クラウド対応レイアウトエンジンLayoutSquare  
組版編集ソフトウェアMC-Smart3  
インバウンド対応情報発信ツールMC Catalog+  
可変バリエابل印刷ソフトMVP7

**(株)山櫻**

小サイズ・名刺・はがきプリンター CARDMATE Digica Rev.6  
名刺プリンター CARDMATE minute Rev.2  
フルカラーレーザープリンター DocuPrint C5000d YAモデル  
高速インクジェットプリンター LX-10000

**(株)ヨシダ機材**

中古印刷機売買商談コーナー

**リコー・ジャパン(株)**

カラーオンデマンドプリンターRICOH ProC9110  
カラーオンデマンドプリンターRICOH ProC7110  
カラーオンデマンドプリンターRICOH ProC5200

**理想科学工業(株)**

ORPHIS GD9630ORメーリングフィニッシャーⅡ  
ORPHIS GD9630GDオフセットステープル排紙トレイ  
RISOGRAPH ME935  
RISOGRAPH SE938F

**リマージュ・ジャパン(株)**

Rimage Catalyst6000N  
Rimage Allegro100

**リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)**

A3判縦通しオフセット単色印刷機RMGT340CCD-1

**和幸商事(株)**

商品展示紹介

(五十音順)

# 第30回北海道印刷関連業協議会 ゴルフ大会のご案内

第30回北海道印刷関連業協議会ゴルフ大会が開催される。

このゴルフ大会は、印刷関連業界のさらなる協調・連帯・親睦の輪を広げるため開催されており、今年で30回目となる。開催要領は次のとおり。

日 時	平成29年9月12日(火) 12:15スタート
コ ー ス	滝のカントリークラブ東・西コース(札幌市南区滝野213)
会 費	5,000円
プレイ費	8,800円(ロッカーフィ含)
申 込 先	各所属団体または北海道印刷関連業協議会 (TEL011-595-8071)

申込用紙は、北海道印刷工業組合HP (<http://www.print.or.jp>) からダウンロードできる。

## 業 界 の う ご き

### ▶南空知支部長に阿曾沼秀匡氏

南空知支部は、このたび、朝山竹博支部長が任期満了により退任し、新しく支部長に阿曾沼秀匡氏(弘文社印刷株式会社代表取締役)が就任した。

### ▶東洋インキ北海道(株)社長に吉野克宏氏

東洋インキ北海道株式会社(札幌市西区西町南11丁目1番36号)は、このたび、藤田一浩社長が、東洋インキ株式会社リキッドインキ営業本部へ転勤され、新しく代表取締役社長に吉野克宏氏が就任した。

### ▶(株)ムサシ札幌支店長に森山明彦氏

株式会社ムサシ札幌支店(札幌市北区北12条西3丁目1番15号 N12ビル)は、このたび、菊地貴志支店長が仙台支店へ転勤され、新しく支店長に森山明彦氏が就任した。

### ▶(有)K・S・Eが移転

有限会社K・S・E(酒井博幸社長)は、このたび、移転した。

〔新住所〕〒007-0837 札幌市東区北37条東28丁目6番1号  
電話011-768-7425 FAX011-768-7426